

第2学年1組 国語科学習指導案

指導者

1. 単元名 「 お手紙 」
2. 単元目標

知識・技能	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読している。
思考・判断・表現	○ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像している。 ○ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 粘り強く場面の様子に着目して登場人物の行動を想像し、学習問題に沿って音読劇に取り組もうとしている。

3. 学習指導計画（9 時間目／全12時間）

- (1) 教師の読み聞かせを聞き、学習の見通しをもつ。 ①
(2) 場面の移り変わり、登場人物の様子を想像しながら「お手紙」を読む。 ⑥
(3) ローベルのお話の中で好きなお話を決めて、練習し、音読劇をする。 本時2時/④
(4) 学習を振り返る。 ①

4. 課題解決のための手だて

本学級の児童は、図書の時間に本を探し、時間を見つけては意欲的に読書をすることができる。しかし、漫画や図鑑など、自分の興味・関心をもった本のみで、偏りがある。また毎日の音読練習で、教材文については読めるようになるものの、新しい文章になると、たどたどしい読みになる児童もあり、個人差が大きい。このような児童の実態から、「お手紙」での音読を通して、がまくんとかえるくんの人柄にふれさせた上で、アーノルド・ローベルの他の作品を選び、音読劇を行うことは、児童が見通しをもって主体的に問題解決へ取り組むだけでなく、今後の読書活動の意欲や関心を高めていくのではないかと考える。

【手だて1】教材の出会い方の工夫

○ 第1次で、アーノルド・ローベルの絵本を見せ、「お手紙」の他に様々な作品があることに気付かせる。その後、絵本で読み聞かせを行う。教師がなりきって音読をすることで、自分達もやってみたくと思わせるようにする。第2次では、1年生にアーノルド・ローベルの作品の音読劇をすることを伝える。

【手だて2】見通しをもって主体的に問題解決へ取り組ませるための工夫

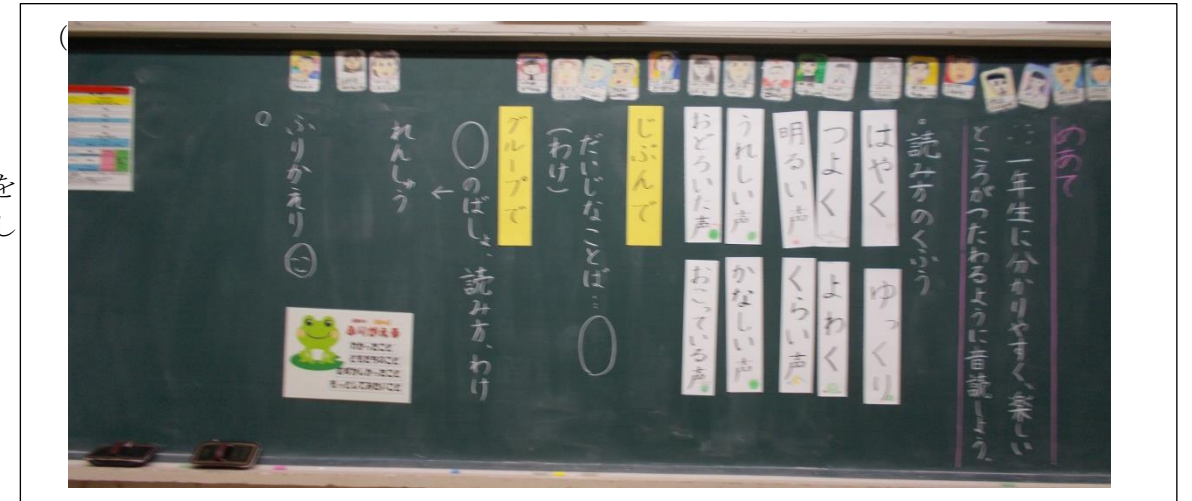
○ 音読劇に向けて、教科書に載っている「お手紙」の文章の読み取りを行わせる。がまくんとかえるくんの行動から、心情を読み取らせ、場面ごとになりきって音読をさせる。これらを繰り返して行わせることで、学び方を知り、がまくんとかえるくんの人柄に迫らせるようにする。

【手だて3】達成感を味わえるための工夫

○ 第3次では、「お手紙」で学んだことを活かしてアーノルド・ローベルの他の作品の音読に取り組ませる。1つの作品を前後半に分け、3人一組で取り組ませる。互いのグループで読み合うことで、友達の音読のよい所を交流させるようにする。音読発表会では、1年生に向けて音読劇を行わせる。第2次の学び方を活かして、自分の音読のめあてをもてるようにする。具体的に気を付けた言葉に着目して読むことで、音読の仕方が変わったことを感じ取られるようにする。

5 本時の学習 令和2年11月17日(火)
第2校時 於：2年1組教室

- (1) 主眼 同じお話を読んだ子どもたち同士で音読劇の練習をし、音読の工夫に対する感想を交流させる活動を通して工夫して音読することができるようにする。
(2) 準備 台本、ワークシート、
(3) 展開



つかむ・見通す	個人思考	集団思考①	集団思考②(全体)		
<p>1. 個人で音読の練習をする。</p> <p>○ 分担をしたところを読ませる。</p> <p>○ 姿勢や発声に気を付けて読ませるようにする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>選んだ作品名 「あしたするよ」 「アイスクリーム」 「ぼうし」 「はやくめをだせ」</p> </div> <p>2 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確かめる。</p> <p>○1年生に向けての音読劇の練習であることを確認することで、意欲を高める。</p> <p>○グループで分担をして、発表することを確認する。</p>	<p>めあて 1年生に分かりやすく、楽しいところが伝わるように音読をしよう。</p> <p>○ 読み方の工夫について確認する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>(いろいろな読み方) はやく ゆっくり つよく よわく 明るい声 くらい声</p> </div> <p>3. 台本に音読で気を付けることを書く。</p> <p>○ 「お手紙」の学習で身に付けた学び方をもとに、書かせるようにする。</p> <p>○ 特に大事な言葉には印をつけておくことを伝える。</p> <p>○ 印をつけた言葉について、どうして大切なのか、理由を考えさせるようにする。</p>	<p>4. グループごとに印をつけた場所について交流をする。</p> <p>○ グループで交流後、お互いの同じ役同士で印をつけ、グループで確認をさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「あしたするってば!」の所は、!がついているから強く読みたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「それはいいな。」の所は、おいしそうだからゆっくり読みたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「ぼくどうしたらいいだろ。」の所は、後で叫ぶと書いているから大きな声で読みたいです。</p> </div>	<p>「やあ、ごめんよ。」の所は、悪かったと思っているので、小さな声で読みたいです。</p> <p>○ 交流後、グループごとに練習をする。</p> <p>5. 全体で音読を聞き合う。 ○ 工夫して読んでいるグループを取り上げ、発表させる。</p> <p>○ 印をつけた場所と、読み方、理由を順に発表させるようにする。</p> <p>○ 友達が工夫して読んだ所を見付け、よい所を認め合うようにする。</p>	<p>6. 本時の学習を振り返り、次時の学習について話し合う。</p> <p>○ 本時のはじめに試し読みをした時と、友達は話し合い、読み方が変わったことを認め、本時のめあてが達成できたことを認め合う。</p> <p>○ 次時は、クラスの友達に発表することをつたえ、次時への意欲をもたせる。</p> <p>(読) 登場人物の様子が表れる読み方を話し合い、工夫して音読している。 (観察・音読)</p>	
	5	15	25	35	
				40(分)	